

ごみ

ちょっと気にして、
もっと気にして!

環境事業課 ☎315304
総合支所

生ごみの水切りについて

本市の家庭から排出される焼却ごみの中身は、約4割が「生ごみ」です。そして、生ごみの約8割は水分といわれています。

生ごみの水切りをし、水分を減らすことは、焼却ごみを減量するための有効な取り組みの一つです。また、悪臭防止や燃焼効率の向上、CO₂の発生抑制などにもつながります。

●水切りの方法(例)

- 水切りネットなどを利用し、ごみ袋に入れる前にもうひと絞りする。
- 野菜の使えない部分などは最初に切り落とし、できるだけ濡らさないようにする。
- お茶がらやコーヒーがらなどを一晩置いて乾かす。

できることから取り組んでみましょう。

生ごみ処理機器購入補助金申請受け付け中!



■ごみ処理家計簿

減量効果		2月分(前年同月比)
増	処理費用換算	+ 385万円
減	排出量(1人1日当たり)	796g(+ 27g)

※処理費用は、処理に要する経費と排出量から単純に計算したもので、実際の金額とは異なります。